

輕暖なりと。又駝革一張、銀二兩以上、駝骨も亦箸、扇骨等を造るべく、就中腿骨を好とす。

駱駝の性行は、以上述べたる如く、強健なるものなり。故に古來清國の西域に出兵するや、毎に糧運の大部分を駝運に依る。近くは左宗棠の回匪を征せし時、糧食、被服、武器の輸送は、其の大部分駱駝を用ひたりと。駱駝は、甘肅省内に於ては、約二萬五千頭を徵發し得べく、新疆、蒙古を合すれば、優に十萬頭を得べしと云ふ。亦盛ならずや。

徵發し得
べき數

以上家畜の部に於て比較的駱駝の項を詳記せしものは、我邦人は、他の家畜に比し駱駝の状態を知るもの稀なるが故なり。且つ我邦人にして、將來蒙古新疆地方に貿易を試みんとするには、貨物の運搬は駝背に頼らざるべからざるが故なり。

抑、牧畜は、游牧民の生命なり、財産なり、新疆の一大物産なり、游牧民半牧民より組織せる新疆の統治者は、之を重要視して、之が改良蕃殖を圖らざるべからず、豈無智盲昧なる蕃族の爲すが儘に放任して可ならんや、既に官設の馬廠羊廠ありしを聞くも、其施設の不備なりし爲め、依然往昔の状態を脱する能はず、宜しく模範牧場を